

今日のわだい

- [1面] 第35回女性集会in福島
- [2面] 第35回女性集会から教育講演・特別報告
- [3面] 12年春厚生労働省交渉



全国労働組合連合会  
 厚生連  
 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5  
 TEL 03-3874-3591  
 FAX 03-3874-3593  
 発行日 毎月 20日  
 定価 30円

# いま 私たちにできることは

## ～福島原発事故を踏まえて～

## 第35回女性集会在福島で開催



茨城の「やきとり」体操、みんなで踊りました

茨城の「やきとり」体操、みんなで踊りました。背景や今後、の原発政策の原発政策の背景や今後、

渡辺委員長が主催者あ  
 いさつ。女性部として、  
 若者の不安定な職や低取  
 入、保育の営利自由化の  
 問題など、結婚し子ども  
 を生み育てづらくなって  
 いる国の政治の問題につ  
 いて、目を向けて取り組  
 むことの大切さを訴えま  
 した。

また女性委員会を代表  
 してあいさつした折笠副  
 委員長は、福島での開催  
 に感謝の意を表すとも  
 に、「報道では前向きな  
 人たちが取り上げら  
 れるが、実際は多くの

### 時が止まった警戒区域 原発事故がなかったら

6月8～9日の2日間、福島県磐梯熱海温泉・華の湯にて、全厚労第35回女性集会在福島で開催され、17県から121名の参加者がありました。今回の女性集会では、昨年の東日本大震災と原発事故により、今もなお様々な被害や困難を受けている福島を支援するとともに、現在、福島のみならず日本全体を苦しめている原発や放射能問題について学ぶことで、私たちに何ができるか、を考えることを目的にしました。

人が苦しんでいる。警戒区域が解除された相馬市小高地区では、1年3ヶ月前のそのままで、時間が止まっている状態。原発事故がなかったらと常に考えるが、一方で全国から支えられていることに励まされている。福島で多くを学んで交流して持ち帰って欲しい」と述べました。

### 福島在住の家族の悩み 生の現実を聞いて納得

集会では、安齋育郎先生（立命館大学名誉教授）から「福島第一原発事故を踏まえ私たちは何をすべきか」と題して、講演を頂きました。

また特別報告として、今も放射線量が高いとされる福島市渡利地区に家族で住まれている佐藤晃子さんから、原発事故直後からの生活の実態や「子どもチーム（福島復興共同センター）放射能対策子どもチーム」の取り組みについて、お話頂きました（2面に記事）。



生理休暇取っちゃうんだぜ〜と福島・伊藤さん(み)

### 「母性保護」も楽しく アピールした交流会

夕食交流会では、恒例の各県「余興」で盛り上がりしました。茨城の「やきとり体操」を会場みんなで踊ったり、福島からは、「○○だぜ〜トワイルドだろ〜」でお馴染みの「スギちゃん」や「ローラだよ!」の物まねで、母性保護の大切さを訴えるアピールで会場を大いに沸かせました。

翌日は6つの分散会で、意見交流。「脱原発の声を上げるだけでなく、自然エネルギーへの転換に向けて、暮らしのエネルギー資源をどうするか考えていく必要がある」「子どもたちの未来を守る責任、語り継ぐ責任が私たちにある」「新聞やTVなどの報道だけでは分からない。隠されている情報をつかみ、判断する力も必要」「一人ひとりの力を一つにまとめて、労組として脱原発や復興に取り組むたい」などの様々な意見や決意が交わされました。

### 参加者の感想から

#### 【教育講演】

放射線・原発の事だけでなく、開発の歴史、社会状況について講演され、素晴らしい内容でした。「隠すな、ウソつくな、故意に過小評価するな」を大切に運動の輪を広げなくてはいけないと思いましたが（茨城）。

#### 【基調報告】

母性：生理休暇を取っていくという風習にならなくてはいけない。

#### 【分散会】

原発について考えると複雑な思いが生じます。各県の話を聞いて、立場が変われば別の考えも生じ、自分の中で考えをまとめることが難しいです。しかし原発反対に関しては考えは変わりません。福島に原発がなければ、これまでの被害はなかったというのを忘れてはいけません（福島）。

#### 【特別報告】

言葉では表現できないくらい、彼女のフクシマの人の痛み、つらさが伝わってきた。幅広い意味で微力ではあっても継続的に支えていきたい。

教室からしか絵が描けないとかプールに入れないとか体験した人にしか分からないことはたくさんあると思えます。その人から生の声を聞き、同じ事を繰り返さないということが、今の自分に来ることが、外で遊んでいることが当たり前と思っていた自分が恥ずかしいです（三重）。



# 主権者として 明確な意思を示そう

## 第35回女性集会教育講演



立命館大学名誉教授  
安齋育郎さん

168倍（昨年6月時点）のセシウム137が放出され、10分の1になるのに100年も掛かります。国の収束宣言はこうした状況を故意に過小評価したものです。

### 確定的影響と 確率的影響

**原発事故を故意に過小評価するな**  
事故後、新聞取材で原発担当者に向けて「隠すな、嘘つくな、故意に過小評価するな」と伝えてほしいと言いました。

福島第一原発4号炉は整備点検中で原子炉内は空だったが使用済み燃料プールには1300本以上の核燃料があります。燃料プールはかなり損傷があり、M8クラスの余震でどうなるかわかりません。東京電力は「対策取ったから問題ない」と言いますが取られた対策はプールの下をコンクリートで補強した程度です。原発事故で広島型原爆の

に溶けた核燃料を取り出し始めるのに10年、全て取りきるまでにさらに10年かかる。炉を処理し、解体しきるまでに全部で50年かかります。

チェルノブイリ原発のあったベラルーシでは、26年たった今でも国家予算の2割が放射能汚染対策に使われており、福島第一原発の廃炉にも相当な費用がかかるでしょう。

### 分散ではなく 集中した管理を

放射線の確定的影響は「一度に浴びると必ず死ぬ」と言う位の直接的な影響の事で、この影響による死者は今のところいません。確率的影響は「ちよつとずつ長期に放射線を浴びるとガンなどで死ぬ可能性が増える」という影響の事でこれから出てくるでしょう。身近な確率に宝くじの当選確率がありますが、確率的影響は言わば「ガン当たりくじ」ということです。

ガンになる可能性のあるくじをたくさん買う…いっぱい浴びるほど当選しやすくなる。宝くじと違うのはそこに居ただけで強制的に買わされる事です。

### 廃炉まで50年

廃炉に向けて問題なのは原子炉の状態を見に行けないことです。内部がわかるのに約10年、中のドロドロ

徹底した管理体制をとった上で、ガンや心のケアのために検診が必要になってきます。ガンも早期の発見であれば治す事ができます。普段でも日本人の30%の人がガンで亡くなっているのですから、ガン患者も早期に助けることができます。

### 止めるも続けるも 明確な意思を持って

事故が起こらなくても使用済み核燃料や高レベル放射性廃棄物は処理をしなければなりません。核廃棄物は安全なレベルまで下がる

のに10万年という長い年月がかかります。10万年前だとネアンデルタール人やクロマニヨン人のいた頃で、はたして意思の疎通が出来るのかと心配になるくらいに相手に対して負の遺産を押し付ける事になるのです。

### こんなに原発がある 国で戦争はできない

狭い国土に54基もの原発を持つ日本はこの国とも戦争することはできません。福島第一原発が事故になっ

ただでこの騒ぎですから敵対国は原発にミサイルを撃ち込めばいいだけです。北朝鮮の核はアメリカに向けられたもので、だからこそ大陸を飛び越えて攻撃できるテポドンの開発に躍起になるのです。

### 一人の歩みは大きい

私は東京大学工学部原子力工学科の1期生です。国が原発推進の技術者を養成する学科でしたが「原子力がモノになるかは放射能を管理できるかにかかっている」と放射線防護学を専攻

しました。医学部に転身し、医学部助手をしていたころは講演に行けば電力会社の「安齋番」が尾行について次の日には主任教授にどんな話をしていたか筒抜けになる程監視されていました。「何を言うのか」気にしていた証拠です。一人の歩みはそのくらい大きな影響力であり、多くの人々が取り組めばさらに大きな力になります。

## 喜怒哀楽を共感できる 仲間が大切

### 福島からの特別報告



福島県労連事務局  
佐藤あきさん

原発から62キロの福島市渡利に学童保育指導員の夫、高校生の長男、小学生の二男、保育園に通う長女の5人家族で住んでいます。

### 事故直後の福島市

震災後1週間ほど断水があり、洗濯も洗髪もできない状況でした。余震が多

したので夫を残して岩手に避難しました。テレビ報道では聞きなれない放射線の単位が流される中、4月に入り「下がってきたから大丈夫かな？」と学校が始まるので戻る事にしましたが、情報不足の中での不安を抱えながら判断をせざるを得ない状況です。

### 以前とは違う 子どもたちの姿

学校では以前とは違う光景が広がっています。暑い日も放射線対策として窓が開けられない。屋外活動は制限され、順番を待つて室

### 原発事故が もたらしたもの

震災以前に政策的に弱かったところは震災以後ますます置き去りにされています。学童では狭くて古い民

### 悩みぬきながらも 福島で

「子どもがいるのに逃げないなんて虐待だ」とか、避難先で「福島と言ったら子どもが虐めにあった」などの話も聞き、将来の健康と避難先で生活できるのかという不安を天秤にかける様な選択を何度も迫られてきました。

今でも放射線に対する考

え方が分かれ、地域懇談会で「隣の席の人はどう考えているだろう」「放射線が怖いと言ったら考えすぎだと批判されないか」となかなか話し合うことができない実態があります。原発事故被害はすぐには解決しませんが、だからこそ対策の無いまま原発の再稼働が狙われている事が許せません。こんな不安や悩みを他のどの地域の親や子どもにもしてほしくないと思っています。新たな事故が起きない限り家族一緒にいるという選択が正しいかどうかは今もわかりませんが日々悩みながら家族とともに生活していきたい。普段から喜怒哀楽を共に感じあえる仲間や友人をたくさんいることが防災としても大切だと思います。



# 知ってぐんぐん！労働組合 第2回

**問** 今から約60年前、看護師は独身で寮住まいが当たり前。そんな彼女らは当時なんと呼ばれていたのでしょうか。

**答え**  
 A 生け簀の魚  
 B カゴの鳥  
 C 青い鳥  
 (答えは4面下)

戦後、民主主義の時代が訪れたにも関わらず、1950年代、看護師(当時は看護婦)は、女性労働者の中でも最も虐げられていた存在でした。看護師はみんな寮に入り、就職する際には、「結婚・通勤せざるをえないような事態を生じた場合には直ちに退職します」という誓約書を書かされてきました。だから職場に結婚を隠して就職する人もいて、土日に出届けを出して、夫や子どもに会いに帰る看護師は、「土曜婦人」と呼ばれていました。そしてなんと国立高田病院では、「妊娠割り当て」事件が起こります。「妊娠は年に4名まで、年長者と子どもがいらない人から」という通達で、病院の労働組合員から全医労本部(国立病院の労働組合)に投書が寄せられたことから人権侵害の実態が発覚します。同じような実態が各地にあり「恋愛、結婚、通勤の自由を認めよ」と多くの看護師たちが立ち上がりました。国立高田病院では全組合員と家族の合同大会を開き、「私たちは今日から妊娠制限を認めない。自分の子どもを生み育てることは、人間として当然の権利だ」との決議を上げ、病院長団交で妊娠制限を打ち破ります。今では寮であつても個室が当たり前だと思えます。でも個室が一般的になったのは、約20年前、労働組合の青年部が「家計簿調査

や「独身寮調査」に取り組み、「個室化」「新築」の要求を上げたことがきっかけです。当時も世間ではバブル景気やトレンドドラマでの豪華な一人住まいが流行るなか、看護師は2人4人部屋が当たり前で、何十年も前に建てられたボロのままの建物に押し込まれていました。「私たちがって人間らしい生活がしたい」「こんな青年たちの熱意が職場を変えていったのです。」



## 12年春・厚生労働省交渉

5月29日、全厚労は12春闘での厚生労働省交渉を22名の参加で行いました。要請項目は、以下の6点。

1. 厚労省としてへき地医療担う公的病院への運営助成金制度を急ぐ。専門の医師確保
2. へき地や離島での救急・専門の医師確保
3. 震災・原発事故からの福島県の医療再生
4. 「5局長通知」に基づく看護師確保のための労働条件整備
5. 療養病床の維持・診療報酬の引き上げ
6. 介護職員処遇改善

### 市町村合併で助成もなくなり施設閉鎖も

項目1で担当者は、厚労省の助成金は、総務省のものとは違い、何かをやったことに対して助成する形を取っている。しかし要望は理解できるので違った形でも支援できないか考えていきたいと回答しました。

交渉団からは、総務省の交付金も、国が進めてきた市町村合併によって、以前は対象になっていたものが外れて、診療所閉鎖になっているところもある。国の政策によって、いっそう医療過疎化が進む中で、国が責任を取るのだから、「違った形」を具体的に検討して欲しい、と迫りました。

### 本当に医師確保になる効果的な予算執行を

2について、担当者からは、19億円の予算を確保し、救急のためのドクターヘリ配備へ12年度(平成24年)で34道府県40機について、1機2・1億円(県と折半)の財政支援を行うこと。また地域医療支援センターを20県で設置してもらい、財政支援を行っている。へき地勤務医師のキャリアアップ対策でも大病院や総合病院で働けるよう要請を強めている、などと回答。

交渉団からは、ドクターヘリの稼働は、思ったほどないのではないか、また緊急度の高い夜間や風の強い日は、飛べなくて実際に使えない。その分の予算を医者の人件費に回してもらった方が効果が高い。公的に医師を派遣してもらえないければ、過疎地には研修医などは来てくれない、などと状況を説明しました。

### 今のニーズは高齢者介護、もっと柔軟に

3について、担当者は10年度特例交付金はすでに福島県に交付し、11年度補正においても被災3県の基金へ720億円を拠出している。基本的に県の計画に委ねており、病院の設置主体

に関わらず交付金は使ってもらえる。交付のための要件も福島県については除外しているとの回答。またこれまでの相対地域医療支援センターを1月より福祉分野の従事者確保のため、「相対地域医療福祉支援センター」と改組し、対応にあたっていているとしました。

### もつと地方・現場からの情報・データ提供を

全厚労での参加は初めてでしたが、平成16年の新潟県「中越大地震」で、災害補助率高上の交渉をしたことがありましたが、厚生労働省へ来たのは、これで2回目となります。

私は政策・方針を決めていく中で、深刻さの点では同じなのに医師の待遇に光が当てられ、看護師は後回し、との感があるのはなぜか?その結果、看護基準が引き上げられ、病院経営のため看護師の獲得競争が激化、制度のみが先行するため、看護師不足がさらに深刻さが増しているのにと、疑問を持っていました。

### 勤務時間算定に新たに「じよく瘡対策を追加

4について、各種委員会の勤務時間への算入は、これまで認められていた「医療安全」「院内感染」の他に、

力、政策力が必要だと理解しました。厚労省も「情報を下さい」とのことだったので、回数を重ねることも大事ですが、組合が連携して、プラスアルファの情報が必要、その取り組みが重要だろうと感じました。

この交渉を通しての印象は、対応にあたる担当官は前回も今回も若い方でしたが、受け答えがしっかりしていて、地方(現場から)の実態、情報、要望については乏しい、不足であることは認め、真摯に意見交換に応じてくれました。その辺はさすがだなと感じました。またこれも交渉を重ねてきたおかげと思いましたが、「医療政策」には助成制度(法律)の不備があることや、厚生連が果たしている役割(へき地、中山間地の医療)など理解は少し進んでいると感じました。

新厚労 白井 康博

### 福島の医療・介護再生に向けて頑張りたい

4月から事務職より労組専従となり、今回初めて、厚労省交渉に参加しました。福厚労からは3名参加し、訴えました。昨年の東日本大震災と原発事故の影響で、未だ原発の20km

「じよく瘡対策」が診療報酬で包括化されたために、認められるようになったと回答。その他の委員会については、認められる状況にないとされました。

交渉団からは、「研修や委員会を思い切っって少なくしてゆとりを確保したことで、離職率を大幅に下げた取り組み」などを紹介し、思い切った発想の転換を求めました。

圏内には入れない状態で、県内外へ15万人以上上る県民が避難をしています。

このようななか、医師・看護師・介護士などの医療労働者数が震災や原発事故などの理由で減少しており、特に原発のある浜通り地域の看護師、介護士の減少が顕著です。医療や介護の提供体制にも影響が出ており、早期の体制整備が必要となっています。厚労省には、被災地の医療労働者の確保の困難さ、さらに仮設住宅等への避難にて、その地域の患者増加と高齢化率が高くなっている状況、さらには派遣医師の打ち切りを訴えました。避難の影響で介護の需要が高くなり帰宅しなくては出来ない状況もあり、介護職員の確保と処遇改善、さらには介護報酬の算定要件緩和についても求めました。交渉での全厚労のみならず的確な発言が大変頼もしく、うれしく感じました。今回、厚労省交渉に参加して現場の声を直接訴えるには大変良い機会であり、このような行動は重要であると感じました。福島県の医療と介護体制の充実には遠い道のりかもしれませんが、みなさんの支援を頂きながら頑張っていきたいと思えます。

福厚労 伊藤 友隆



へき地医療の実態を訴える佐藤副委員長。一番右が白井さん



# 帰って来た 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第64回は埼玉と愛知にお願いしました。



埼玉 大槻卓矢さん

埼玉から、久喜総合病院の放射線技師である大槻卓矢さんを紹介いたします。

久喜総合病院も開院から1年余がたち、落ち着きを見せています。この間に病院を利用したドラマ撮影が複数あり、大槻さんは、テレビドラマ『DOCTORS 最強の名医』に技師「伊原剛史」役で出演していました。

就職して3年が過ぎ、仕事以外でもつき合える信頼できる仲間たちがいると語る大槻さん。職場の人気者です。そして、執行委員1年目にして、埼玉労書記次長として頑張っています。「若い世代を盛り上げていければ」と語ります。長期に頑張りたい期待の星です。全国の会議・行動で見かけたら、声を掛けてやってください。

今回は安城更生支部の服部学さんを紹介したいと思います。

普段は医療情報室という院内の奥、隔離された部屋でボソボソとPCに話しかけています。

しかし、家へ帰ると3児のパパとして戦いの日々が待っています。

家庭の平和を乱すモンスター、未空(8才:長女)、泰士(3才:長男)、昶士(1才:二男)達に宿題をやらせ、料理を作り、お風呂に入れたりと休日は家庭的な良いパパのようです。大事な事なのでもう一回言います「休日は家庭的な良いパパのようです」。

当分この過酷なロールプレイングゲームは終わりそうにないですが、【小遣い値上げ】のレアカードはコンプガチャなら出るのでしょか?誰か教えてください。



愛知 服部 学さん

ワールドだろ!

# 医労連共済

## みんなで作る大きな安心

医労連共済に寄せられた組合員の声をアンケートからご紹介します。

◇まさか、子どもの入学・卒業にまで給付があるとは知りませんでした。これからは後輩にも教えてあげようと思えます(慶弔共済)

◆娘が夏休み中に虫垂炎になり入院。入院だけでなく、子どもの休業まで給付があり驚きました(セツト共済に家族も加入している場合)◇

◇台風で裏の木が倒れ電気の引き込み線等が破損し、その修理の給付をいただきました。その給付で裏の別の木が傾いていたのでその木の処理もしたいと思



ます(火災共済)◇娘が玉突き事故にあい、幸いなにもなかったのですがお見舞い金をいただきました。 (自動車共済)

# 読者の声

徳島・広島の白衣デモ」地域医療を守れ、看護師増やせ!

「春闘」がはじまりました。長く、長く、なかなか結着のつかない闘いです。それでも経営協議会の最前線で私たちの代表として闘ってくれている執行委員の皆さんにありがとう

たい気持ちと誇りを感じます。それを忘れることなく日々の仕事をがんばりたいと思います (長野)

徳島では4月に白衣のデモが行われました。同僚看護師が多数参加し当日はとも寒かったです。お疲れさまでした。また、プラカードではそれぞれの思いが込められていて感動する作品でした (徳島)

良くないけど...追い出される気分です」とつぶやいていました。病院側も退院させざるをえないし、患者さんも帰るしかない。これで本当に良いのでしょうか (福島)

春ですね。新入社員の緊張した顔が笑顔になるよう、そして退職せず共に働きつづけてくれるように日々の指導だけでなく組合活動も頑張らねば!と改めて感じました (富山)

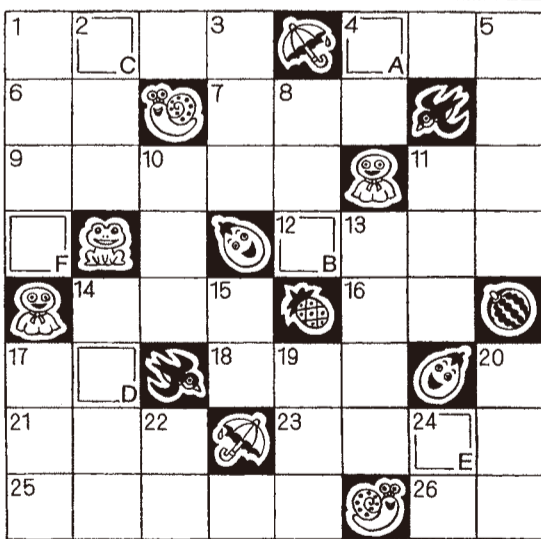
診療報酬改定の記事を読みました。まさに先日退院した患者さんの家族が「入院日数が決められているから仕方なく退院します。具合はあまり

各県でいろいろな活動が行われている事にビックリしました。その為には組合員の団結が必要です (岐阜)

【問題】二重ワクの文字を、A~Fの順に並べてできる言葉は、なに? .....

# ザククロスワード

出題●モロゾミ勝



【問題】二重ワクの文字を、A~Fの順に並べてできる言葉は、なに? .....

【タテのカギ】1 雨かな? ... 坊主 2 エイトとテンの間 3 田舎の反対語 4 食... あん... 5 涙を出す器官 6 めしべのことです 7 ...の子は... 8 故郷へ...を飾る 9 勤め先に通う 10 恋にやぶれる 11 良薬...に苦し 12 拜啓で始まり...で締めくく 13 引っ越し...通知 14 建物がない土地 15 太鼓をたたく棒 16 日本語にすると、小さい・かわいらしい

- ヨコのカギ 1 ビルの1室を事務所や店として借りる人 4 6月の誕生石 6 ホームラン。本...打。 7 能力などを信じ過ぎる 9 立体を切り開いた図 11 精巧に作られた...札 12 ...団体。...太助 14 ...ロードは絹の道 16 雨の多い時期 17 賛否の...をとる 18 土地の区域。...開発 21 義歯とも言います 23 油で揚げた日本料理 25 韓流スターのチャン・グンソクさんの愛称 26 6月の第3日曜日は...の日